

古河電工産業電線・平塚工場

「らくらくアルミケーブル」体験スペース新設 技能訓練センター4月開設

古河電工産業電線
（本社）東京都荒川区、
松本康一郎社長は平



アルミケーブルの体験コーナー



開設する技能訓練センター

塚工場（神奈川県平塚市）に高機能型低圧アルミ導体CVケーブル「らくらくアルミケーブル」の施工を体験できるスペースを新設した。4月からはアルミ

CVケーブルの端子の接続方法を学ぶことができる技能訓練センターを開設。省施工性と安全性の向上をヒールし、さらなる拡販を図る方針だ。

らくらくアルミケーブルは導体にアルミ、絶縁被覆に柔軟性架橋ポリエチレンを採用したもので同社の注力製品の1つ。従来の銅導体CVケーブルに比

べ、質量が同サイズで約半分、曲げやすさが約3倍といった特長がある。

このほど、平塚工場内に実際にケーブルの延線を体験できるコーナーを新設。ケーブルラック上や電線ケーブル用の可とう管路材フレックス内にらくらくアルミケーブルを合わせ、引き回しやすさを体験できるようにした。

4月からは接続作業の研修を行う技能訓練センターを開設する。アルミCVケーブルの場合、銅ケーブルの端末加工と作業が異なる

そのため、皮剥きフラッシング工具「アルミらくらくソケット」な

いでは、ケーブルの皮剥きからアルミ端子の接続までを学ぶことができる。座学でアルミ導体の端末接続に必要な知識を学び、実際に工具を手に取り作業を行う実技を実施。テストに合格すると、技能講習修了書が発行される。

この技能訓練センター

同社は建設・電販市場の電気工事をはじめ、仮設電源工事や太陽光発電関連工事などで実績を重ねてきた。20年度に19年度比で売り上げ規模を約3倍以上に拡大させたいとしている。